

平成20年2月22日

各 位

会社名 株式会社名村造船所  
代表者名 代表取締役社長 名村 建彦  
(コード番号 7014 大証 第1部)  
問合せ先 取締役兼常務執行役員経営業務本部長  
名村 建介  
(TEL 06-6543-3561)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の業績予想につきまして、平成19年5月18日決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

### 1. 連結業績予想の修正について

平成20年3月通期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(百万円未満は四捨五入して表示しております)

	単 位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	103,000	8,000	7,900	4,400	91円23銭
今回修正予想(B)	百万円	109,000	9,500	9,400	5,000	103円67銭
増減額(B-A)	百万円	6,000	1,500	1,500	600	12円44銭
増減率	%	5.8	18.8	19.0	13.6	13.6
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	百万円	93,455	5,251	5,086	3,105	67円87銭

### 2. 修正の理由

通期業績予想(連結)につきましては、函館どつく株式会社(以下「函館どつく」という。)の連結子会社化の影響等を見極めるべく、据え置いておりましたが、これらの連結業績に与える影響についておおよそ見通しが立ったことにより今回通期業績予想(連結)を修正するものであります。

今回の修正要因としては前回(平成19年11月13日開示)発表した単体通期業績予想のとおり、当社主力事業である船舶事業における米ドルの円転がほぼ順調に進んだために売上高が改善したこと、全社一丸となったコスト削減運動の効果と船舶事業において第一次大型設備投資による増産設備の効率向上等から製造原価を削減することが出来たことにより、営業利益・経常利益・当期純利益とも大きく改善する見通しとなったことにあります。

ただし、函館どつく連結子会社化による影響は現時点で予測可能な限り織り込んだものの、未だ未確定事由も残っていることを付言します。

上記予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、経済情勢・為替相場変動によるリスク等不確定要因により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上